

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
防府市	富海 (戸田山、石原、野田、脇、朝日、新地、梶野、門前)	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	155.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	77.8ha
③地区内における71才以上の農業者の耕作面積の合計	49.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・農業従事者の高齢化や、農業機械の更新を契機とした農業離れが進み、担い手不足が深刻な状況である。
- ・担い手不足により、不作付地、耕作放棄地が多い。
- ・不在地主が多く連絡先が分からないところも多く早急な対策が必要。
- ・農道、水路、ため池などのインフラが老朽化し、水利の管理が困難になり、小規模でも基盤整備が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在の地域及び社会の状況に合った富海地区の農地の利用計画を構想し、将来性のある農業経営が可能な基盤を作るための検討を始める。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

貸付け等の意向が確認された農地は、9,947㎡となっている。

農業は富海地域の核であり、農業を守っていくことが地域づくりともいえるので、地域づくりの視点を持った農業経営組織の設立を検討していく。

農地中間管理事業をフルに活用し農地の集積・集約化を進めるとともに、各種交付金事業を積極的に活用し、地域の持続可能な農業経営の基盤を整えるための検討を行う。

新たな農業経営組織の設立に向けての体制づくりや、農地の集積・集約化を進めていく中で、新たな担い手を受け入れる体制を整える。

5 中心経営体

3経営体

- ① 現状の経営面積 6.69ha
- ② 今後の農地引受の引受けの意向 6.77ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計①-② 0.08ha)